



ちゅうりっぷ組だより <1月号>



平成29年1月20日 ときわ保育園 担当: 野口

お正月休み明け、子ども達は元気に登園し、いつもの可愛い笑顔がたくさん見られました。月齢の高い子の中には「アソビマンボウ」「ケンケンいた」など、ゆづつ二語文が話せるようになり、体操や手遊びをする時も一緒に歌を口ずさもうとする姿は、とても嬉しそうです。月齢の低い子も楽しんで体を揺らしたりする様子を見ると、

保育者も嬉しく思います。



♪♪♪♪♪♪♪♪♪



又、最近では絵本も大好きで、フレーズも覚えてしまうぐらい何度も読んでいるのは『おやんとバス』です。保育者が「ハンバーグくん」と言うと「はい」と皆で手を上げ、「ブロッコリーくん」「トマトちゃん」と言う度に、「はい」と喜んでいます。他にもミュージック絵本の「おーい かばくん」や「できるかな」もお気に入りです。絵本を見つけると指を差して、曲を流して欲しいというように催促する声が聞かれます。特に「できるかな」では、手や足を動かすのも、ゆづつ上手になり、一人ひとりの満足そうな笑顔には「楽しい」という思いがあらわれています。これからも子ども達が目を輝かせながら楽しめるような絵本を読みたいですね。まだまだ寒い日が続いています。インフルエンザや風邪をひいたりしないよう、健康状態には十分に配慮したいと思います。

